

べっとうだに
別当谷法面对策工の整備推進
 手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

- **安全で安心な地域づくり**
 ・観光の拠点地域における安全・安心確保

事業の概要

別当谷については、平成16年5月7日発生の土石流により別当出合の登山用吊橋流出や砂防新道への土砂堆積などの大きな被害を受け、年間約5万人が訪れる登山者に甚大な影響を与えました。また、平成18年9月7日にも別当谷上流で山腹崩壊があり、登山道（砂防新道）に影響を与えています。

今年度、別当谷第15号砂防堰堤の右岸法面において、凍結融解及び降雨が起因と考えられる崩壊が拡大している事が確認されました。法面上部には、登山道（砂防新道）ならびに砂防工事用道路があり、また直下流には別当出合（登山基地）があるため早急に対策工を行う必要があります。

整備効果

別当谷法面对策の完成により、更なる法面崩壊の拡大を防止するとともに、登山道（砂防新道）ならびに砂防工事用道路の安全度を向上させます。

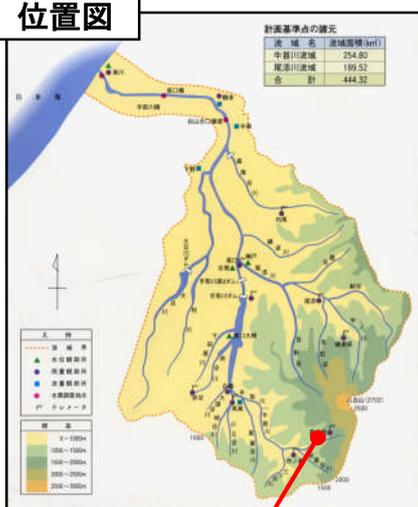
事業着手

平成19年度

平成21年度の事業内容

法面崩壊に伴う土砂災害に対する安全度の向上を図るため、別当谷右岸において法面对策として山腹工の整備を推進します。

位置図



平成19年7月撮影



別当谷法面对策

